

平成28年度

事業実績報告

社会福祉法人 敬仁会

目 次

1. 平成28年度を振り返って	3P
2. 主な実施事業	4P
3. 法人の運営	6P
1) 理事会、評議員会の開催（開催日、議案）	
2) 経営会議、施設長会	
3) 各種委員会	
4. 教育研修の取り組み	8P
1) 法人教育研修委員会について	
2) その他の取り組み	
5. リスクマネジメントへの取り組み	13P
1) 福祉サービス苦情解決委員会	
2) 事故・ヒヤリハット件数	
6. 職員の状況	15P
1) 採用・退職の状況	
2) 表彰受賞（受章）者一覧	
3) 外部役職就任状況	
7. 地域貢献活動等	16P
1) ボランティア受け入れ	
2) 利用者負担減免実績等	
3) 市町村委託事業関係	
4) その他 施設の取り組み	
8. 実地指導・監査等状況報告	24P
1) 実地監査等の結果	

1. 平成28年度を振り返って

平成28年度における我が国の経済情勢は、国の経済財政政策の推進によりGDP等の経済指標値は軒並み上昇し、生産年齢人口（15～64歳）が減少する中、女性・高齢者等の就業者数増に比例して有効求人倍率も約1.4倍と高水準で推移するなど雇用・所得環境が着実に改善したことにより、経済の好循環が継続しています。このような状況下において、特に都市部では「保育所に入所できない待機児童」・「家族介護のために仕事を辞めざるをえない介護離職」問題があらためてクローズアップされることとなりました。これらを踏まえ政府は、平成28年6月に『ニッポン一億総活躍プラン』を閣議決定、同年8月には介護人材・保育士の処遇改善、介護離職ゼロ・待機児童解消を目指した受け皿（施設）整備などを盛り込んだ「未来への投資を実現する経済対策」の実施を決定しました。

また、昨年度は自然災害等が多発するなど、改めてリスク管理の重要性を考えさせられる年度でありました。昨年7月に神奈川県内の障がい者施設にて発生した元職員の利用者死傷事件に始まり、8月には岩手県の高齢者施設を直撃した台風災害、10月には本県中部地区一帯を襲った震度6弱地震、更に今年2月には鳥取県全域で33年ぶりとなる記録的大豪雪が発生しました。これらにより防災・防犯体制について検討の必要性が生じました。また、大手広告代理店では過酷な長時間労働の末、社員が過労自殺するという痛ましい事件も発生しています。経済状況好転により職員確保が厳しい状況だが、職員処遇面のリスクもあるため、労働環境向上を目指した取り組みを今後も着実に行っていきます。

平成27年4月に介護報酬・障害福祉サービス報酬のマイナス改定が行われ2年目を迎えましたが、法人全体としての事業業績は確実な伸びを示し、結果として経常利益は前年比約1億円の増益となりました。目標達成に向けて努力し、堅調な運営ができたといえます。

ハード面の整備は、米子市及び倉吉市の各公募事業にて当法人が事業者を選定されたことにより、両市内に高齢者グループホームを整備しました。また、前述の鳥取県中部地震にて中部地区施設が罹災したため、鳥取県補助金を活用し緊急復旧工事を実施しました。

ソフト面の取り組みについては、改正社会福祉法において「地域における公益的取組」が条文化されたことにより法人内にて検討を重ね、鳥取県社会福祉協議会が県下社会福祉法人協働事業として提案した「生活困難者に対する相談支援事業」への参画を決定しました。現在、東京都社会福祉協議会においても類似の取り組みが実施されており、東京施設においても都社協事業に参加する方針としています。職員処遇面では、殊に東京施設における職員確保の困難性を勘案し、住宅手当支給対象者の拡充、保育士初任給の学歴格差解消、当法人奨学金支給対象資格の拡充などを検討し、平成29年度に実施することとなりました。その他、昨年に引き続き「介護職員等による喫吸引研修事業、認知症介護実践者等研修の委託業務を受託し、地域福祉人材の育成にも努めることができました。

このように、平成28年度においても様々な事業に取り組む事ができました。これもひとえに地域の方々のご理解・ご協力のたまものと深く感謝しております。平成29年度は改正社会福祉法の施行により、社会が社会福祉法人に対し求める役割は大きく変化し、また社会福祉法人を見る目も厳しさを増していくものと考えます。当法人としては、地域ニーズなど社会の動向を敏感に察知した事業展開を行うなど、地域に信頼された堅実な法人運営に努めていきます。今後とも変わらぬご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人 敬仁会
理事長 藤井 一博

2. 主な実施事業

① 認知症高齢者グループホームやまと整備事業の完了

平成28年4月、米子市から地域密着型サービス事業者公募が発表されました。整備地である淀江地区は高齢化率が高く認知症高齢者が多数居住する地区であるため、認知症高齢者グループホームの提案を行い、当法人が事業主に選定されました。今年3月に木造平家建の建物が竣工し、4月1日に開設しました。当施設周辺には米子東病院もあり、医療との連携の期待から、多くの利用ニーズが見込まれています。

② 認知症高齢者グループホームかりん整備事業の完了

平成28年6月、倉吉市から認知症高齢者グループホーム事業者公募が発表されました。当公募での整備地区は応募者提案形式であったため、市内全地区の需給バランスなどを検討し、倉吉市西倉吉町地内の提案をし、当法人が事業主に選定されました。今年3月に木造平家建の建物が竣工し、4月1日に開設しました。建設地は倉吉市西側地域の主要道が交差する位置にあるため、利用ニーズが多く見込まれます。

③ 鳥取県中部地震罹災にかかる復旧工事等の実施

平成28年10月21日発生鳥取県中部地震にて、倉吉市山根地区等に位置する施設建物が多大な被害を受けました。災害復旧国庫補助の対象施設は、財務省中国財務局及び厚生労働省中国四国厚生局の査定を経て復旧工事に着手しました。ババール園の昭和55年築部分については、安全性に不安があるため被災直後から使用停止し、ようやく今年3月に耐震補強工事が完了しました。

④ 防犯カメラ等設置事業の完了

国は、神奈川県障がい者施設にて発生した利用者死傷事件を踏まえ、防犯対策補助事業を新たに実施しました。当法人内においても防犯カメラ未設置施設における設置要否を検討し、既に設置済のル・ソラリオン綾瀬などを除く施設に防犯カメラ等を設置しました。

⑤ ル・サンテリオン東郷 1階浴室等整備事業の完了

これまで通所リハビリテーションご利用者の入浴は、介護老人保健施設ご入居者も利用する2階の浴室にて行っておりました。近年ご利用者の増加に伴い当浴室の対応では入浴時間の調整が厳しい状況となっておりましたので、1階への浴室設置工事を実施し、これと併せて手狭であった食堂等の空間を拡張しました。

⑥ よどえババール園事業移管

これまで社会医療法人仁厚会が設置運営しておりました「保育所よどえババール園」について検討を重ね、平成29年度より敬仁会が設置主体となり、かつ運営事業を「地域型保育事業における『事業所内保育所』」とする内容の設置認可を米子市より受けました。今後、従業員枠活用により育児休業者の円滑な職場復帰が可能となり、職員の定着化に資することができます。

⑦ 東京地区職員採用専任職員の配置と東京地区施設連携会議の継続開催

これまで東京各施設にて個別に行っていた採用活動を一元的に行うため、採用専任職員をル・ソラリオン綾瀬に配置しました。これにより、求職者からの個別問合せ及び人材紹介会社からの応募情報等が集約され採用活動の効率化を図ることができました。また、管理職による東京地区施設連携会議を継続的に開催したことにより、主要課題の職員採用等に向けた議論を交わすことができました。

⑧ 鳥取県社会福祉協議会提案事業（地域における公益的取組）への参画

改正社会福祉法による「地域における公益的取組」について法人内で検討し、鳥取県社会福祉協議会提案の「生活困難者に対する相談支援等事業（通称：えんくるり事業）」への参画を決定しました。今後は、各市町村社会福祉協議会及び他法人との連携を図り、生活困難者支援に積極的に取り組んでいきます。

⑨ 第1回 仁厚会・敬仁会 医療福祉学会の開催

これまで敬仁会教育研修委員会主導にて研究発表会を開催しておりましたが、平成28年度より敬仁会・仁厚会協働のもと、第1回医療福祉学会を開催しました。当日は両法人職員約450名参加のもと、35演題（医療・介護・障害・保育）の発表がアゼリアホール他2会場にて行われました。

⑩ 介護職員等による喀痰吸引等研修事業の実施

これまで鳥取県より受託しておりました「介護職員等による喀痰吸引等研修事業」を、平成28年度も継続して受託しました。しかし、折からの看護師不足により指導看護師の業務負担が大きくなったことから、平成28年度は法人が実施主体となる同研修事業については実施を見送りました。平成28年度の受講者数は43名であり、県内介護従事者の介護技術向上に貢献しました。

⑪ 認知症介護実践者研修等委託業務の受託

平成27年度に引き続き平成28年度も鳥取県より認知症介護実践者研修等委託業務を受託しました。当法人が初めて受託した平成21年度は3研修3会場であった当事業も、平成28年度には認知症介護基礎研修が新たに追加となり、7研修12会場の研修を実施しました。喀痰吸引等研修業と同様、当法人職員のみならず県内介護従事者の質の向上に貢献しました。

平成28年度は、米子市及び倉吉市における高齢者グループホームの整備に重点を置いた年でありました。国は、高齢者分野において「地域にて高齢者を支えあう『地域包括ケア』」を掲げ、また障がい者分野では「施設入所者等の地域生活への移行、福祉施設から一般就労への移行」などの方針を出しています。鳥取県では県民人口が減少していく中、今後も小規模事業所（高齢者及び障がい者グループホーム）整備及び在宅系サービスの拡充に重点が置かれていくものと考えられます。今後も国の施策及び地域の福祉・介護ニーズに対して敏感になり、その地域で求められる必要なサービスをタイムリーに提供していくことが法人の責務であると考えます。

今後とも、人材育成、確実な予実管理、各種リスクの未然防止と適切な処理、データ集積・分析からの展開等、ソフト面全般の充実に向けて特に注力していく必要があります。

3. 法人の運営

1) 理事会、評議員会の開催（開催日、議案）

理事会

開催年月日	出席者数 /定数 (現員)	出席者中 の書面表 決者氏名	議 題
H28. 5. 27	10/10	—	第1号 第58期（平成27年度）事業報告及び決算について 第2号 定款変更について 第3号 諸規程の改正について 第4号 米子市地域密着型サービス事業者の公募について 第5号 高額工事・物品購入について 報告事項1 平成27年度補助事業・入札案件の報告について
H28. 7. 27	10/10	—	第1号 倉吉市地域密着型サービス事業者の公募について
H28. 9. 29	8/10	—	第1号 倉吉市公募にかかる認知症高齢者グループホーム整備事業について 第2号 米子市公募にかかる認知症高齢者グループホーム整備事業について
H28. 12. 2	9/10	—	報告事項 第59期（平成28年度）中間報告について 第1号 定款変更について 第2号 評議員選任・解任委員会の委員選任等について 第3号 ル・ソラリオン葛飾の定員変更等について 第4号 地域型保育事業における事業所内保育所よどえババール園の実施について 第5号 鳥取県中部地震に伴う被害箇所の修繕について 第6号 諸規程の改正について 第7号 第59期（平成28年度）事業計画の変更について 第8号 高額工事・物品購入について 第9号 特別代理人の選任について
H28. 12. 22	9/10	—	第1号 理事長の互選について 第2号 役員報酬について
H29. 2. 27	9/10	—	第1号 評議員候補者の推薦について
H29. 3. 24	10/10	—	第1号 第60期（平成29年度）事業計画及び予算（案）について 第2号 平成28年度補正予算（案）について 第3号 障がい者グループホーム移転等事業及び基本財産処分について 第4号 苦情解決委員会第三者委員の選任について 第5号 事務部長等の選任について 第6号 諸規程の改正について 第7号 年度末期末手当の支給について 第8号 役員報酬について 第9号 社会医療法人仁厚会との建物設備等使用にかかる賃貸借契約について 第10号 高額工事・物品購入について 報告事項 平成29年4月1日就任の評議員について

評議員会

開催年月日	出席者数 /定数 (現員)	出席者中 の書面表 決者氏名	議 題
H28. 5. 27	21/21	—	第1号 第58期（平成27年度）事業報告及び決算について 第2号 定款変更について 第3号 諸規程の改正について 第4号 米子市地域密着型サービス事業者の公募について 第5号 高額工事・物品購入について 報告事項 平成27年度補助事業・入札案件の報告について
H28. 9. 29	20/21	—	第1号 倉吉市公募にかかる認知症高齢者グループホーム整備事業について 第2号 米子市公募にかかる認知症高齢者グループホーム整備事業について
H28. 12. 2	20/21	—	報告事項 第59期（平成28年度）中間報告について 第1号 定款変更について 第2号 ル・ソラリオン葛飾の定員変更等について 第3号 地域型保育事業における事業所内保育所よどえババール園の実施について 第4号 鳥取県中部地震に伴う被害箇所の修繕について 第5号 諸規程の改正について 第6号 第59期（平成28年度）事業計画の変更について 第7号 高額工事・物品購入について
H29. 3. 24	20/21	—	第1号 第60期（平成29年度）事業計画及び予算（案）について 第2号 平成28年度補正予算（案）について 第3号 障がい者グループホーム移転等事業及び基本財産処分について 第4号 理事及び監事の選任について 第5号 施設長等の選任について 第6号 諸規程の改正について 第7号 年度末期末手当の支給について 報告事項 平成29年4月1日就任の評議員について

評議員選任・解任委員会

開催年月日	出席者数 /定数 (現員)	出席者中の 書面表決者 氏名	議 題
H29.3.24	3/3	—	第1号 平成29年4月1日就任の評議員の選任について

監事監査

開催年月日	監 事	施 設	監 査 内 容
H29.5.1	森本、齋藤	ル・ソラリオン	業務及び財産状況の調査、計算書類及び事業報告書の調査等
H29.5.2	森本、齋藤	ル・サンテリオン ババール園	〃
		シルバー倉吉	〃
		ル・サンテリオン東郷	〃
H29.5.8	森本、齋藤	ゆりはま大平園	〃
		敬仁会館	〃
		マグノリア	〃
H29.5.9	森本、齋藤	よなご大平園	〃
H29.5.10	森本、齋藤	ル・ソラリオン名和	〃
		ル・ソラリオン葛飾	〃
		ル・ソラリオン西新井	〃
H29.5.11	森本、齋藤	ル・ソラリオン綾瀬	〃
		あやせババール園	〃
H29.5.15	森本、齋藤	本部事務局	重要な決裁書等の閲覧、計算書類及び事業報告書の調査等

2) 施設長会

- ①施設長会（毎月下旬実施）
- ②東京地区事業所連携・連絡会議（毎月実施）

3) 各種委員会

① リスクマネジメント委員会（随時実施）

- ・安全衛生部会
- ・災害対策部会
- ・安全運転管理部会
- ・事故防止対策部会
- ・法令遵守部会

② 教育研修委員会（随時開催）

③ ISO 各種部会（随時実施）

運営委員会	運営企画委員会	運営委員会	
介護部門	介護部会	看護部会	リハ部会
	相談部会	通所部会	ケアハウス部会
	訪問介護部会	グループホーム部会	居学部会
	管理栄養部会		
障がい部門	入所部会	就労部会	在宅部会
保育部門	保育部会		
事務部門	事務部会		

④ 福祉サービス苦情解決委員会（年2回実施 6月、11月） ※ P12 参照

⑤ サービス内部評価委員会（会議年2回実施、サービス評価7月～2月毎月実施）

4. 教育研修の取り組み

1) 法人教育研修委員会について

社会福祉法人敬仁会が実施する福祉サービスの質の向上と地域社会におけるサービスの提供拠点としての充実を目指す上で、以下の点を人材育成における基本理念とし、法人に所属する全職員を対象とした教育研修の企画・実施・評価を行い、敬仁会職員の人材育成を目指します。

① 人材育成の基本理念

- ・対人援助サービスの担い手として「専門性」「職業倫理」の確立並びその資質向上
- ・職場・地域社会におけるサービス提供組織の一員としての「組織性」及び「社会人としての意識」の確立並びにその資質向上
- ・「求められる人材育成」及び「職務意識向上」のため、教育研修システムの充実を図る

② 法人が求める職員像

- ・常に専門職として問題意識をもち、職務にあたる人材
- ・自らに課せられた課題を自主的に整理・解決しながら職務にあたる人材
- ・「専門性」に対し精神面・技術面等の向上に意欲的に取り組む姿勢をもつ人材
- ・チームケアの精神をもち、組織の一員としての役割を理解し職務にあたる人材
- ・法人内にとどまらず、地域社会など広域的な福祉分野の組織的活動に対し、意欲的・協力的に活動できる人材
- ・敬仁会「職務基準書」「行動評価表」に準じた人材
 - ◆ チームで仕事ができる人
 - ◆ スキルアップを目指した向上心のある人
 - ◆ 相手の気持ちを大切にできる人

③ 平成28年度方針

- ・法人内各施設の情報共有を図り、法人全体としてレベルアップを図る
- ・法人研修と施設内研修・施設外研修の連動を念頭におき、研修効果が職員個々の実務に反映されることを目指す
- ・社会医療法人仁厚会との連携を図る
- ・次世代後継者育成に向けた研修システムを充実させるとともに、研修の効率化を図る
- ・研修システムの再構築
 - ◆ 人事制度と連動した研修システムの構築（管理職・係長・主任・リーダーの育成）
 - ◆ 目標管理表を活用した人材育成
 - ◆ リスクマネジメント委員会・ISO部会等と連携した研修の開催

⑤ 平成28年度 研修実績

(名)

月	研修名	対象職種	研修内容	参加者数
4	目標面接者研修	目標面接者	・人材育成に向けた目標管理表の活用法 ・目標管理表活用の事例報告	93
5	新任役職者研修	新任役職者	・敬仁会の役割等級制度の理解 ・部下育成の在り方 ・部下との接し方・面接における注意点	9
5 10 3	人権担当者会	施設人権担当者	・各施設年間活動計画 ・各施設情報交換、意見交換	55
6	介護スキル基礎研修	介護福祉士有資格者で伝達できる職員	・介護技術の基本・ポイントを習得 ・指導を行う能力を身につける	18
6	認知症ケア研修 (リーダー編)	・認知症介護実践リーダー 研修修了者 ・リーダーレベルで施設が 推薦する者	・認知症の基礎理解 ・昨年度取り組み ・認知症ケアの質の向上に向けた取り組みの企画 ・自施設研修の枠組み作りと立案	13
7	ISO 研修会	1 等級職員	・ISO の手順書の理解と活用	37
7 11	階層別初級クラス研修	入社 2 年目職員	・職場の問題解決の実践 ・チームでの課題解決計画作成 ・リスクの理解、問題解決 ・演習（事故・是正・私の 2 年目の課題）	118
7	安全運転研修会	通所・訪問系等運転業務、 添乗業務に関連する職員 他	・公用車事故の発生状況と原因 ・危険予知トレーニング（グループワーク） ・最近の交通事故の発生状況、原因からの安全 運転の実践について	40
8	係長・主任研修	係長、主任	・主任・係長の役割理解、課題解決の実践 ・人材育成における報連相の活用	73
8	ISO 研修会 外部講師：日本能率協会	管理・副管理責任者 部会責任者・リーダー 事務局 他	・ISO9001:2015 年版規格解説と移行ポイント ・QMS と改訂規格の要求事項とのギャップを 診断し、追跡又は修正ポイントを明確にする	56
9	認知症ケア研修 (基礎編)	認知症実践者研修 未受講者	・認知症の基本の理解（講義・演習） ・認知症の人の体験の理解（講義、演習）	20
11	ISO 研修会 外部講師：日本能率協会	8/22 ISO 研修参加者	・ギャップ診断の結果等から、既存の品質マニュアル、 及びシステム文書の全面的見直しについて	54
8	リスクマネジメント 研修	リスク委員など伝達可能 な職員	・リスクの活用を学ぶ ・法人での共通理解 ・施設の取り組み実践報告	64
8 9	階層別中堅職員研修	採用 5 年目職員	・中堅職員に求められる姿を理解する	45

月	研修名	対象職種	研修内容	参加者数
9	コンプライアンス研修	全職員	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスとは ・身近なコンプライアンス（個人情報・虐待防止） ・法人の規程について ・DVD研修（ハラスメントについて） 	533
10	係長・主任合同研修 外部講師： 社会福祉法人幸清会	係長・主任以上	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉現場のリーダーとしてやりがいのもてる職場づくり、人材育成の考え方や手法 ・より良いサービス提供が、職員のやる気向上、働きやすい職場づくりにつながることを学ぶ 	94
11 12	安全運転研修	新入職員・送迎担当・公用車事故暦者などリスク度の高い職員	<ul style="list-style-type: none"> ・安全運転研修カリキュラム（路上運転後、自分の運転の癖を確認） 	24
12	腰痛予防研修	全職員	<ul style="list-style-type: none"> ・腰痛の発生原因 ・業務の特性からみた腰痛の要因 ・腰痛の要因を改善する意識、習慣、工夫 ・腰痛につながる姿勢（実技） ・腰痛予防体操（実技） 	140
12	メンタルヘルス研修 外部講師： 産業心理相談室	管理職者、施設衛生管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレスチェック結果の読み取り方 ・職場改善のポイント 	31
12	人事考課者研修	人事考課者	<ul style="list-style-type: none"> ・教育訓練手順 ～人事考課実施方法の説明 ・エコグラムの活用により自分自身の行動特性を知る 	75
12 1	障がい専門研修	障がい者施設職員	<ul style="list-style-type: none"> ・自施設以外の障がい施設での支援や業務を知り、自施設のサービスへ繋げる ・研修先施設での不適切な支援等を伝える 	7
8～ 2	新人職員研修	新入職員	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの基本、報連相 ・記録の意義と重要性 ・チームの中の課題解決 	121
2	第1回仁厚会・敬仁会 医療福祉学会	敬仁会・仁厚会全職員	次ページ「◎第1回平成28年度仁厚会・敬仁会医療福祉学会について」参照	172
10 11 12	事例検討会	介護部門各部会	<ul style="list-style-type: none"> ・事例を通して他施設・多職種・他部門との連携を図る 	145
合 計				2037

2) 第1回 平成28年度 仁厚会・敬仁会 医療福祉学会について

- 1 目的 社会医療法人仁厚会・社会福祉法人敬仁会における医療・福祉サービスに関する質の向上および発展を推進し、事業所相互の緊密な知識交流ならびに良質なサービスの水平展開を図る。また、業務成果を振り返り、発表することでプレゼン能力向上と業務に対する意欲・気付き力を高めることを目的とする。
- 2 実施日 平成29年2月25日(土) 9:30~16:30
- 3 場所 アゼリアホール、アゼリア4階会議室・シアタールーム、倉吉病院3階会議室
- 5 記念講演 「統合失調症の認知機能障害と認知リハビリテーション」
鳥取大学医学部精神行動医学分野 教授 兼子幸一 先生
- 4 発表内容 サービス向上、業務改善、リスク管理等、各事業所および委員会活動等における、質向上へ向けた研究や改善に向けた取り組みの内容とする。

平成28年度 研究発表会 発表題目一覧

	施設名	発表タイトル
介護	① マグノリア	『音読教室』の取り組み ~認知症予防から健康長寿を目指して~
	② シルバー倉吉	大脳活性化で認知症予防 ~くもん学習療法導入より10年を振り返って~
	③ ル・ソラリオン葛飾	ショートステイにおけるレクリエーション効果
	④ ル・ソラリオン名和	一人一人の「今」に寄り添う臨床美術
	⑤ ル・ソラリオン綾瀬	ラビリントレーナーを使用した口腔機能訓練を試して
	⑥ ル・サンテリオン鹿野	食事姿勢保持のアプローチ
	⑦ ル・ソラリオン	抱え上げない移乗介助 ~腰痛予防を目指して~
	⑧ ル・ソラリオン	職員がかわれば、利用者もかわる ~個別ケアを目指して~
	⑨ ル・ソラリオン西新井	短期入所は「施設の顔」 ~SWOT分析を用いたマーケティング戦略~
	⑩ ル・サンテリオンよどえ	リハビリテーションマネジメント加算Ⅱ取得に向けて ~多職種と共に利用者の個別ニーズを叶える為に~
	⑪ ル・サンテリオン	え?!通所リハビリも卒業するの? ~活動と参加に向けた専門職の取り組み~
	⑫ ル・サンテリオン東郷	多職種連携の取組に向け ~介護報酬改定の流れから~
医療	① 倉吉病院	看護師主導で行うチェックリストを用いた薬物療法加算
	② 倉吉病院	多飲症患者の飲水自己調整に至るまでの取り組み ~申告飲水と心理教育から見てきたもの~
	③ 倉吉病院	暴力予測に関する看護師の観察視点 ~自由記述式アンケートを用いて~
	④ ル・サンテリオン鹿野	PDの歩行障害に対する横歩きの即時効果
	⑤ 藤井政雄記念病院	24時間自由行動下血圧計(ABPM)を用いた降圧治療中の血圧日内変動タイプ別の血清尿酸値の検討
	⑥ 藤井政雄記念病院	Eilers Oral Assessment Guide (OAG) を用いた口腔内評価について

	施設名	発表タイトル
医療	⑦ 藤井政雄記念病院	主介護者の健康管理に向けた取り組み
	⑧ 藤井政雄記念病院	転倒をきっかけに意欲低下をきたした患者の退院支援
	⑨ 米子東病院	自動車運転歴が運動予後に与える影響 ～回復期リハ棟の脳卒中患者を対象に～
	⑩ 米子東病院	気管切開による意思疎通困難者に対する排泄管理への取り組み
	⑪ ル・ソラリオン名和	褥瘡改善に向けて ～スキンケアからのアプローチ～
	⑫ ル・サンテリオン北条	ターミナルケアを行った末期肺癌の1事例
障がい・保育他	① 敬仁会館	手話を使ってコミュニケーション
	② 敬仁会館	SOを通してのアスリートの成長 ～SOは皆の心を動かします～
	③ よなご大平園	手と手を取りあい、輪（和）になろう ～家族・医療・他事業所との連携～
	④ ゆりはま大平園	嗜好調査にもとづくリクエストメニューへの取り組み
	⑤ 大和保育園	食物アレルギーへの対応とその実践
	⑥ ババール園	健やかな成長を願って ～異年齢交流と体力づくり～
	⑦ よどえババール園	食べることはつながること
	⑧ よどえババール園	絵本から広がる表現遊び
	⑨ ガーデンハウスよどえ	ガーデンハウスよどえの挑戦 ～地域とのつながりを求めて～
	⑩ ガーデンハウスはまむら	「何でだろう…」から始まるケア運営理念 “安心・安全な住まいと快適な生活環境の提供”
	⑪ 在宅医療福祉センター	あずさパン工房の目指すもの
ポスター掲示	ル・ソラリオン	重曹ミラクル
	ル・ソラリオン	持ち上げない介助での取り組み
	ル・ソラリオン名和	臨床美術 作品展示
	よどえババール園	データから見えてきたリスク

3) 鳥取県受託研修事業

① 介護職員等による喀痰吸引等研修事業

従来より、施設ご利用者の痰の吸引及び経管栄養対応（以下、喀痰吸引等）は医行為に該当し、法により医師・看護師等のみ対応が可能とされてきました。しかし、現実的に数少ない医師・看護師等のみでご利用者の喀痰吸引等を対応することは難しく、厚生労働省通知に基づき、特定研修（14 時間）を修了した介護職員等は喀痰吸引等業務（一定要件下）の実施を経過措置的に認められていました。平成 24 年 4 月、「社会福祉士及び介護福祉士法」の改正により研修体系が見直され、「介護職員等による喀痰吸引等研修（基礎研修 50 時間+実地研修）」が制定され、同研修を修了した介護職員等は法に基づき喀痰吸引等業務を実施できることとなりました。当法人は鳥取県より当該研修の実施主体として委託を受けており、県内介護職員等の資質向上に寄与しています。

受講者数 (名)

	実施期間			受講者数
県委託事業	H28.8.2	～	H28.12.1	43

② 認知症介護実践者研修等委託業務

認知症高齢者は今後も増加が見込まれており、認知症に関する専門知識・技術の伴った介護が必要とされています。そのため、当法人は鳥取県から委託を受け、認知症介護における実践的研修、認知症介護事業所管理者を対象とした研修を実施しています。

受講者数 (名)

	実施期間	受講者数
認知症介護実践者研修	東部：H28.5.23～27 西部：H28.6.6～10 中部：H28.7.4～8 H28.7.19～23	319
認知症介護実践リーダー研修	H28.10.12～28 H28.12.16	59
認知症対応型サービス事業開設者研修	H28.8.31	18
認知症対応型サービス事業管理者研修	H28.9.1～2	82
小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	H28.9.14～15	46
認知症介護実践リーダーフォローアップ研修	H29.2.17	39
認知症介護基礎研修	H29.3.4	92

5. リスクマネジメントへの取り組み

1) 福祉サービス苦情解決委員会（年2回実施 6月、11月）

当法人では、福祉サービスに対する苦情を適切に解決することにより、ご利用者、ご家族の満足感や信頼度を向上させることを目的として、同委員会を設置しています。

報告件数 (件)

		平成28年6月16 日開催	平成28年11月24 日開催
苦情	職員の接遇等（言動）	38	26
	サービスの質や量等	8	11
	利用料請求等 事務処理	2	1
	説明・情報提供等	12	6
	被害・損害等	2	1
	権利侵害等	3	4
	金銭管理等（預り金など）	0	0
	施設・設備等	11	4
	その他	13	8
		苦情報告合計件数	76
要望	要望報告合計件数	14	15
お褒め	お褒めの言葉報告合計件数	42	49
報告件数総計		132	125

2) 事故・ヒヤリハット件数

当法人では介護事故及び事故に繋がる可能性のある要因を精査・分析し、再発防止に取り組んでいます。

①施設別

(件)

施設名	ヒヤリハット件数	事故件数
マグノリア	917	5
ル・ソラリオン	569	10
ル・ソラリオン名和	326	4
ル・ソラリオン葛飾	1,151	24
ル・ソラリオン西新井	954	14
ル・ソラリオン綾瀬	657	16
ル・サンテリオン	795	13
ル・サンテリオン東郷	532	3
敬仁会館	251	5
ゆりはま大平園	137	4
よなご大平園	308	5
ハバール園	235	1
あやせハバール園	57	0
シルバー倉吉	178	1
合 計	7,067	105

②レベル別

(件)

項 目		件 数
ヒヤリハット	レベル0	4,772
	レベル1	1,820
	レベル2	475
事故	レベル3	102
	レベル4	1
	レベル5	2

※事故レベル分類基準

区分	レベル	分類内容
ヒヤリハット	レベル0	<input type="checkbox"/> 事故が起こりそうな環境に前もって気づいた場合 <input type="checkbox"/> 間違った事が、利用者に実施される前に気づいた場合 <input type="checkbox"/> 不測の事態が発生したが、利用者には変化がなかった場合
	レベル1	<input type="checkbox"/> 不測の事態が発生し、一般的な観察が必要になったが、治療を要しなかった場合
	レベル2	<input type="checkbox"/> 不測の事態が発生し、軽微な処置(消毒、湿布、鎮痛剤投与)を行った場合 <input type="checkbox"/> 不測の事態が発生し、持続的な観察(24時間)・安全確認のための検査が必要になったが、治療を要しなかった場合
事故	レベル3	<input type="checkbox"/> 事故のため、医療機関で継続的な治療が必要になった場合
	レベル4	<input type="checkbox"/> 事故により、障がいが残った場合
	レベル5	<input type="checkbox"/> 事故が死因になった場合

6. 職員の状況

1) 採用・退職の状況（平成28年3月21日～平成29年3月20日）

①平成28年度採用者人数

(名)

	介護職員 支援員	看護師	保育士	療法士 機能訓練 指導員	その他職種	合計
鳥取施設	54	9	2	6	19	90
東京施設	76	17	13	0	13	119

②平成28年度退職者数及び離職率

	退職者(名)	離職率(%)
鳥取施設	66	9.3
東京施設	61	22.5

※離職率はH28.3.21の職員数より除して算出

2) 表彰受賞(受章)者一覧

平成28年度における法人外団体からの表彰一覧は以下の通りです。

表彰名	受賞者数
平成28年度春の褒章 黄綬褒章	1
平成28年度全国社会福祉施設協議会会長表彰 功労表彰	2
平成28年度日本知的障害者福祉協会 知的障害者福祉事業功労者表彰	2
平成28年度全国救護施設協議会 永年勤続表彰	1
平成28年度鳥取県老人福祉施設協議会会長表彰	4
平成28年度鳥取県社会福祉協議会会長表彰	3
平成28年度倉吉市社会福祉協議会会長表彰	5

3) 外部役職就任状況

施設	役職	団体名	役職
法人	会長代行	鳥取県民間社会福祉施設職員共済会運営委員会	委員
法人	〃	社会福祉事業振興基金運営委員会	委員
法人	理事長	社会福祉施設経営者協議部会	協議員
マグノリア	課長	鳥取県介護保険審査会	委員
〃	〃	鳥取県介護支援専門員支援会議	委員
〃	看護師	鳥取県福祉サービス評価 (第三者評価及び地域密着型評価)	調査委員
〃	〃	鳥取中部ふるさと広域連合介護認定審査会	委員
ル・ソラリオン	施設長	鳥取中部ふるさと広域連合介護認定審査会	委員
〃	係長	鳥取県介護福祉会	理事
ル・ソラリオン名和	施設長	鳥取県老人福祉施設協議会	研修委員

施設	役職	団体名	役職
ル・ソラリオン名和	施設長	鳥取県地域医療対策協議会	理事
//	施設長	大山町地域包括支援センター運営協議会	委員
//	課長	鳥取県老人福祉施設協議会 21 世紀委員会	委員長
ル・サテリカ	施設長	鳥取県介護支援専門員支援会議	委員・小委員
//	//	公益財団法人全国老人保健施設協会鳥取支部	理事
//	//	鳥取県中部地域歯科保健推進協議会	委員
ル・サテリカ東郷	施設長	湯梨浜町地域包括支援センター運営協議会	委員
//	次長	鳥取中部ふるさと広域連合認定審査会	委員
//	//	湯梨浜町介護保険事業計画・高齢者福祉計画推進委員会	//
//	課長	湯梨浜町高齢者及障がい者虐待防止ネットワーク会議	委員
敬仁会館	施設長	鳥取県知的障害者福祉協会	代議員
//	//	鳥取県社会福祉・保健サービス評価推進委員会	副委員長
//	//	鳥取県手をつなぐ育成会保護者互助会	運営委員
//	課長	障がい者福祉従業者等研修企画検討会	委員
//	//	鳥取県立倉吉養護学校関係者評価委員会	委員
//	係長	鳥取県介護福祉士会選挙管理委員会	委員
//	係長	鳥取県知的障害者福祉協会	理事
//	主任	琴浦町障がい者地域自立支援協議会	委員
ゆりはま大平園	施設長	湯梨浜町社会福祉協議会	評議員
//	//	鳥取県障害者施策推進協議会	委員
//	課長	湯梨浜町高齢者及障がい者虐待防止ネットワーク会議	委員
//	係長	湯梨浜町障がい者地域自立支援協議会	委員
よなご大平園	施設長	社会福祉法人米子市社会福祉協議会	評議員
ババール園	施設長	倉吉市社会福祉施設連絡協議会	委員
シルバー倉吉	施設長	倉吉市福祉事務所老人ホーム入所判定委員会	委員

7. 地域活動等の状況

1) ボランティア受け入れ

当法人では定期的にお越しいただく定例ボランティア、随時お越しいただくボランティアの他、ボランティア体験・施設実習を受け入れ、地域交流を積極的に推進しています。(名)

施設名	定例ボランティア	ボランティア	ボランティア体験	施設見学	実習受入
マグノリア	270	110	150	2	42
ル・ソラリオン	92	26	29	16	89
ル・ソラリオン名和	199	78	0	28	7

ル・ソラリオン葛飾	670	77	11	0	10
ル・ソラリオン西新井	152	39	0	5	91
ル・ソラリオン綾瀬	205	22	1	0	0
ル・サンテリオン	87	64	9	25	171
ル・サンテリオン東郷	143	42	20	45	204
敬仁会館	66	9	5	90	209
ゆりはま大平園	908	0	4	8	206
よなご大平園	66	189	0	115	47
ババール園	42	38	5	2	14
あやせババール園	0	4	0	106	23
シルバー倉吉	269	74	8	13	112
合 計	3,169	722	242	455	1,225

2) 利用者負担減免実績等

当法人では低所得者で特に生計が困難である方に対し、介護保険サービス等の利用に係る利用者負担金の減免を実施しています。

①社会福祉法人減免

	事業数	減免額	補助金額	実質減免額合計
特別養護老人ホーム	5 事業	6,378,430 円	1,704,138 円	4,674,292 円
在宅サービス	8 事業	1,500,491 円	501,355 円	999,136 円
小 計	13 事業	7,878,921 円	2,205,493 円	5,673,428 円

②無料低額診療による低所得者への減免（介護老人保健施設）

	ル・サンテリオン	ル・サンテリオン東郷	減免額合計
減免額	4,865,158 円	3,045,854 円	7,911,012 円

③ サービス付高齢者向け住宅の低所得者への減免

減免額
327,200 円

④ 地域活動等への寄附及び支援

寄附金及び支援金
649,368 円

⑤ 合計

減免額	補助金額	実質減免額合計
16,766,501 円	2,205,493 円	14,561,008 円

3) その他 施設の取り組み

◆マグノリア

実施日	名 称 等	参 加 者 等	内 容
毎週火曜日	上井本町趣味の会	地域住民	交流ホールで倉吉元気体操など
毎月	ぼっかほかの会	ご家族、地域住民、行政	認知症家族の会
4月	総事	職員・ご利用者	上井町1丁目公園の掃除参加
8月	夏祭り	ご利用者・ご家族 地域住民	夏祭りでの催事、屋台
4月、8月	廃品回収	GHご利用者、職員	廃品回収協力
—	原子力災害時避難者受入施設	受け入れ予定人数4名	鳥取県より原子力災害時の避難者受け入れ施設として指定される
H25.11.26	災害時等における要援護者の緊急受入れ協定締結	倉吉市	被災した住宅等の要援護者または倉吉市指定施設に避難した要援護者の二次的避難受け入れ
H25.9.18	水害発生時における一時避難場所に関する協定を締結	倉吉市上井一丁目西自治公民館	地域と水害発生時における協定を締結
H27.1.5	災害発生時における一時避難場所に関する協定締結	倉吉市上井一丁目東自治公民館	地域と災害発生時における協定を締結
随時	地域交流スペースの一般開放	地域住民	地域交流スペースを地域の方へ無料開放している

◆ル・ソラリオン

実施日	名 称 等	参 加 者 等	内 容
H28.5.15	山根地区土木作業	職員	山根地区自治会土木作業
H28.7.7	給食サービスボランティア研修会講師	職員	研修会講師
H28.7.9	介護者教室・家族交流会	ご家族・地域住民	講演・ご家族との交流
H28.8.30 H28.9.5	総合産業高校介護講習会	総合産業高校生徒・職員	介護講習会社会人講師
H28.9.23	西郷小学校絵本教室	西郷小学校児童・職員	認知症支援のための絵本教室
H28.9.28	灘手地区介護予防教室	地域住民・職員	研修会講師
H28.10.8	ゴミ拾い奉仕作業	職員	山根地区周辺のゴミ拾い作業
H28.10.16	松上神社祭礼	地域住民・職員	山根地区の方と神輿をかつぎ巡行
年4回	交通安全啓発運動	施設役職者	各交通安全運動期間中、県道沿いにて立ち番行い、事故防止啓発活動を行っている
—	原子力災害時避難者受入施設	受け入れ予定数 20 名	鳥取県より原子力災害時の避難者受け入れ施設として指定される
H25.11.26	災害時等における要援護者の緊急受入れ協定締結	倉吉市	被災した住宅等の要援護者または倉吉市指定施設に避難した要援護者の二次的避難受け入れ
H25.4.10	災害時等における要援護者の緊急受入れ協定締結	湯梨浜町	避難所の生活に困難をきたす要援護者（本人、家族、介助者含）の受け入れ

◆ル・ソラリオン名和

実施日	名 称 等	参 加 者 等	内 容
H28.6.17 H28.7.15 H28.8.9 H28.9.6 H28.11.18	心と身体の健康の集い	旧名和町住民	地域住民を対象にした健康教室
H28.7.14 H28.11.13	地域交流会（臨床美術）	地域の福祉事業所職員等	交流を目的とした臨床美術
—	原子力災害時避難者受入施設	受け入れ予定数 8 名	鳥取県より原子力災害時の避難者受け入れ施設として指定される
H25.3.25	災害時における要援護者の一時避難に関する協定締結	大山町	居宅居住が困難な要援護者（付添人）の受け入れ

◆ル・ソラリオン葛飾

実施日	名 称 等	参 加 者 等	内 容
H28.5.13 H28.8.5 H28.11.11 H29.2.10	介護予防教室 「ソラ葛安心介護塾」	地域住民・職員	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行について ～加齢による変化を知ろう～ ・口腔ケアについて ～健康は口元から～ ・知って安心！排尿のメカニズム ・聴こえのしくみ ～意外と知らない補聴器の話～
H28.11.22	合同防災訓練	東京消防庁・本田消防署 中青戸町会	はしご車出動の合同防災訓練
H28.10.4 H29.3.12	青戸町会防災訓練	地域住民・職員	町会主催の防災訓練
	青戸町会さくらまつり	地域住民・ご利用者・職員	青戸町会主催さくらまつり招待
	青戸町会夏祭り	地域住民・ご利用者・職員	青戸町会主催夏祭り招待
年 21 回	地域交流ホール貸し出し	中青戸保育園父母の会 中青戸保育園年長組 中青戸保育園保護者会 中青戸保育園卒業生が関係 中青戸保育園謝恩会係 白鳥小学校 PTA ご利用者ご家族 他	地域交流ホールを地域の方へ無料開放している
H25.6.7	災害時における被災住民の受け入れ等に関する相互応援協定	葛飾区	災害時等における要援護者の緊急受け入れ及び救出・救護活動応援者の派遣 ※相互に応援協力
H27.10.27	災害時応援協定	葛飾区中青戸町会	災害時における救出・救護活動応援者の派遣 ※相互に応援協力

◆ル・ソラリオン西新井

実施日	名 称 等	参 加 者 等	内 容
毎月 第 1 月曜	若二三会 介護予防教室	地域住民・職員	骨折予防・感染症対策・介護保険等
H28.7.23	施設内覧会	地域住民	施設見学・相談会
H28.10.15	ふれあいはあとまつり inTOKYO	地域住民	イベント（屋台、キッズコーナー等）

H28.9.1	合同防災訓練	西新井第三団地自治会 西新井消防団 西新井消防署	三者による地域防災の連携強化を図るための合同防災訓練
H28.9.25	足立区総合防災訓練 西新井地区避難所運営訓練	西新井第三団地自治会 足立区	足立区全域での実践的な訓練
H28.8.23 H29.20.15	防火防災連絡協議会	西新井地区高齢者等施設	近隣の高齢者施設と消防署との連携を密に入所者の安全確保を目的として協力
	災害時応援協定	西新井第三団地自治会	災害時における救出・救護活動応援者の派遣 ※相互に応援協力
H27.12.10	第二次避難所施設等利用に関する協定	足立区	第一次避難所での生活が困難であると認められる高齢者・障がい者等の受け入れ

◆ル・ソラリオン綾瀬

実施日	名称等	参加者等	内容
H28.6.30 H28.12.7	葛飾ろう学校交流会	葛飾ろう学校児童 ご利用者	交流
H28.7.16	家族交流会 家族介護教室	ご家族	・施設の運営状況 ・嚙下の仕組み・口腔ケア
H28.7.29	自治会夏まつり	ご利用者・職員	自治会主催の夏まつりに参加
H28.11.11	パークタウン東綾瀬自治会	職員	・H29 地域介護教室 内容提案
H27.12.10	第二次避難所施設等利用に関する協定	足立区	第一次避難所での生活が困難であると認められる高齢者・障がい者等の受け入れ
H28.1.19	災害時相互応援協定締結	パークタウン東綾瀬自治会	災害時における救出・救護活動応援者の派遣 ※相互に応援協力

◆ル・サンテリオン

実施日	名称等	参加者等	内容
H28.5.25	ボランティア交流会	定例ボランティアの方等	ボランティア紹介・振り返り
H28.8.26	花火大会	ご利用者・ご家族 ボランティア	花火・盆踊り・ゲーム
H28.9.24	敬老会・家族会	ご利用者・ご家族 ボランティア	家族会・表彰・屋台・ゲーム
H28.11.29	地域交流イベント In ハーブル	地域の方	施設紹介・アンケート
H29.1.4	お正月・新年会	ご利用者	新年の挨拶等
随時	地域交流スペースの一般開放	地域住民	地域交流スペースを地域の方へ無料開放している
年4回	交通安全啓発運動	施設役職者	各交通安全運動期間中、県道沿いにて立ち番行い、事故防止啓発活動を行っている
—	原子力災害時避難者受入施設	受け入れ予定数 10 名	鳥取県より原子力災害時の避難者受け入れ施設として指定される
H25.11.26	災害時等における要援護者の緊急受け入れ協定締結	倉吉市	被災した住宅等の要援護者または倉吉市指定施設に避難した要援護者の二次的避難受け入れ
H25.4.10	災害時等における要援護者の緊急受け入れ協定締結	湯梨浜町	避難所の生活に困難をきたす要援護者（本人、家族、介助者含）の受け入れ

◆ル・サンテリオン東郷

実施日	名 称 等	参 加 者 等	内 容
H28.5.10	松崎地区介護教室	地域住民・職員	介護教室等
H28.6.9	サンQ会	ご利用者・ご家族	熱中症・脱水・転倒予防につちえ
H28.7.1	七夕交流会	こども園園児・ご利用者	七夕行事交流
H28.5.15 H28.7.10 H28.10.2	湯梨浜町東郷池一斉清掃	職員	施設周辺清掃
毎月	よどや	松崎地区他地域住民・職員	介護、栄養、健康等相談、手芸等
毎月	いろいろ端	石脇地区他地域住民・職員	介護、栄養、健康等相談、手芸等
毎月	アダプトプログラム	職員	東郷池周辺清掃
H26.12.12	子どもかけこみ 110 番	倉吉警察署	過去、登下校の小学生がけがの治療等で来所あり、倉吉警察署より認可を受ける
—	原子力災害時避難者受入施設	受け入れ予定人数 11 名	鳥取県より原子力災害時の避難者受け入れ施設として指定される
H25.4.10	災害時等における要援護者の緊急受入れ協定締結	湯梨浜町	避難所の生活に困難をきたす要援護者（本人、家族、介助者含）の受け入れ

◆敬仁会館

実施日	名 称 等	参 加 者 等	内 容
H28.4.10	上井 1 丁目東水路清掃作業	グループホームご利用者 世話人	水路清掃作業
H28.4.24	ゆりはま 105 春の感謝祭	職員	あいサポート・SON 活動 PR
H28.5.1	若桜鉄道イベント	職員	ピンクうどん PR
H28.5.22	児童公園草刈り作業	グループホームご利用者 世話人	草刈り作業
H28.6.5	SON 鳥取地区大会総合開会式	ご利用者・職員	スポーツ交流
H28.6.19	上井地区敬老会	グループホームご利用者 世話人	敬老会
H28.7.4	SON 鳥取地区卓球大会	ご利用者・職員	スポーツ交流
H28.7.17	水郷祭	ご利用者・職員	屋台
H28.8.6	倉吉みつぼし踊り	ご利用者・職員	屋台・みつぼし踊り
H28.8.7	上井 1 丁目東西公民館清掃	ご利用者・職員	公民館清掃
H28.9.24	SON 鳥取 EKS イベント	ご利用者・職員	スポーツ交流
H28.10.2	コナンまつり	ご利用者・職員	屋台
H28.10.8	鳥取県障がい者グランドゴルフ大会	ご利用者・職員	スポーツ交流
H28.12.11	中部障がいフォーラム 2016	ご利用者・職員	手話
H29.2.18	中部地区ふれあい研修会	職員（講師）	どこに住んでどこで暮らす？
年 4 回	交通安全啓発運動	施設役職者	各交通安全運動期間中、県道沿いにて立ち番行い、事故防止啓発活動を行っている
—	原子力災害時避難者受入施設	受け入れ予定数 10 名	鳥取県より原子力災害時の避難者受け入れ施設として指定される
H25.11.26	災害時等における要援護者の緊急受入れ協定締結	倉吉市	被災した住宅等の要援護者または倉吉市指定施設に避難した要援護者の二次的避難受け入れ
H25.4.10	災害時等における要援護者の緊急受入れ協定締結	湯梨浜町	避難所の生活に困難をきたす要援護者（本人、家族、介助者含）の受け入れ

◆ゆりはま大平園

実施日	名 称 等	参 加 者 等	内 容
毎月2回	ローソン長和田店 即売	ご利用者・職員	施設商品即売会
H28.4.24	ゆりはま 105 春の感謝祭	地域住民・ご利用者・職員 ボランティア他	環境保全活動の啓発等
H28.7.23	花見納涼祭	職員	施設商品即売参加
—	三八市、めぐみの湯公園・燕趙園 フリーマーケット	ご利用者、・職員	即売会等
—	施設体育館、会議室等の開放	地域住民 SON (ス [®] ジャルリビ [®] ックス)	施設体育館等を開放し、地域の方々に利用いただいている
—	地域の清掃活動 (アダプトプログラム)	ご利用者・職員	道路の清掃、除草作業
H25.4.10	災害時等における要援護者の緊急 受け入れ協定締結	湯梨浜町	避難所の生活に困難をきたす要援 護者(本人、家族、介助者含)の 受け入れ

◆よなご大平園

実施日	名 称 等	参 加 者 等	内 容
H28.4.10	チューリップマラソン	ご利用者・職員	給水ボランティア
H28.10.30	淀江町公民館まつり	ご利用者・職員	屋台参加
年2回	クリーン活動	ご利用者・職員	地域のゴミ拾い
随時	会議室等の開放	地域住民(子供会、自治会 役員会等)	会議室等を地域の方へ無料開放し ている
随時	あいさつ・ゴミ拾い運動	グループホームご利用者 世話人	地域のゴミを拾い
随時	各種イベントへの参加	ご利用者・職員	作業での生製品の販売
H26.3.11	災害発生時一時避難施設としての 協定締結	米子市	災害発生時における一時避難施設 として地域住民を受け入れ

◆ババール園

実施日	名 称 等	参 加 者 等	内 容
H28.4.24	ゆりはま 105 春の感謝祭	園児・職員	ステージ発表
H28.5.12	ル・サンテリオン施設交流	園児・職員	発表・トマト植え交流会
H28.7.26	ル・サンテリオン施設交流	園児・職員	発表・トマト収穫交流会
H28.8.5	ル・ソラリオン夏祭り	園児・職員	発表・交流会
H28.8.25	藤井政雄記念病院納涼祭	園児・職員	発表・交流会
H28.9.9	シルバー倉吉敬老会	園児・職員	ステージ発表
H28.9.15	ゆりはま大平園敬老会	園児・職員	ステージ発表
H28.9.16	ル・サンテリオン北条敬老会	園児・職員	ステージ発表・交流会
H28.9.21	マグノリア敬老会	園児・職員	ステージ発表・交流会
H29.2.16	マグノリア交流会	園児・職員	ステージ発表・交流会
毎月1回	エコ活動	園児・職員	山根地区を歩いてゴミを拾う

◆あやせババール園

実施日	名 称 等	参 加 者 等	内 容
H28.11.16	子育て講演会	保護者・地域住民	講師による講演（父母の会共催）
H27.12.10	第二次避難所施設等利用に関する協定締結	足立区	第一次避難所での生活が困難であると認められる高齢者・障がい者等の受け入れ
H28.1.19	災害時相互応援協定締結	パークタウン東綾瀬自治会	災害時における救出・救護活動応援者の派遣 ※相互に応援協力

◆シルバー倉吉

実施日	名 称 等	参 加 者 等	内 容
年 10 回	上井保育園 体操交流	園児・ご利用者・職員	保育所年長・年中児と体操交流
H28.6.19 H28.11.6	福庭子ども会リサイクル活動	地域住民・ご利用者・職員	リサイクル品の提供
H28.8.13	福庭納涼祭	地域住民・ご利用者・職員	屋台出店協力
H28.10.1	上井保育園運動会見学	園児・ご利用者・職員	保育園行事参加
H28.10.15	波波伎神社秋の大祭	ご利用者・職員	お供え品・休憩所の提供
H28.10.16	倉吉市ごみゼロ一斉清掃	ご利用者・職員	公園・施設周辺道路のゴミ拾い
H28.10.16	上井保育園合同運動会	園児・ご利用者・職員	保育園との合同運動会
H28.12.13	上井保育園クリスマス交流会	園児・ご利用者・職員	クリスマスリース作り交流
H28.12.17	上井保育園生活発表会	園児・ご利用者・職員	上井保育園発表会見学
H29.1.6	交通安全教室	ご利用者・職員	倉吉警察署交通安全啓発
H28.1.14	とんど焼き	地域住民・ご利用者・職員	地域活動参加
H28.3.14	上井保育園お別れ会	園児・ご利用者・職員	年長園児と記念品作成交流
H25.11.26	災害時等における要援護者の緊急受け入れ協定締結	倉吉市	被災した住宅等の要援護者または倉吉市指定施設に避難した要援護者の二次的避難受け入れ

8. 実地指導・監査等状況報告

1) 実地監査等の結果

法人

	実施 事業所数	文書指摘		指導事項		共になし 事業所数
		事業所数	指摘数	事業所数	指摘数	
①法人指導監査（所轄庁）	1	1	13	1	5	0
②ISO更新審査（外部機関）	全施設	2	3	15	60	0
合計	全施設	3	16	16	65	0

鳥取施設

	実施 事業所数	改善報告を要しない 指摘事項		改善報告を要する 指摘事項		共になし 事業所数
		事業所数	指摘数	事業所数	指摘数	
①介護保険実地指導	4	2	10	2	7	0
②老人福祉施設指導監査	3	1	3	0	0	2
③児童福祉行政指導監査	1	1	4	0	0	0
④障害福祉サービス指導監査	6	2	2	3	4	3
⑤無料低額事業指導監査	2	0	0	0	0	2
⑥保護施設指導監査	2	0	0	0	0	2
⑦その他	3	0	0	1	1	2
合計	21	6	19	6	12	11

東京施設

	実施 事業所数	文書指摘		指導事項		共になし 事業所数
		事業所数	指摘数	事業所数	指摘数	
①東京都施設サービス検査係	0	0	0	0	0	0
②東京都保育施設検査係	1	0	0	0	0	1
③区実地監査	0	0	0	0	0	0
④その他	0	0	0	0	0	0
合計	1	0	0	0	0	1